

● 株式情報 (2024年9月30日現在)

株式の状況

- 発行可能株式総数 54,800,000株
- 発行済株式の総数 31,256,600株 (うち自己株式1,048,528株)
- 株主数 6,676名

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 3月31日
中間配当を行う場合 9月30日
そのほか必要がある場合は、あらかじめご告知いたします。

- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

■お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル) (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。

- 公告方法 電子公告 (<https://www.se-corp.com/ja/ir/koukoku.html>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○ご報告：株主優待制度を活用した社会貢献団体への寄付について

2024年3月期においては、選択式の優待品目のひとつとして、昨年同様「緑の募金」を通じた東日本大震災の被災地復興に向けた「使途限定募金」の寄付を設定いたしました。

その結果、多くの株主様の善意により **合計金額 45万円** が集まりましたので、公益社団法人国土緑化推進機構に全額寄付させていただきました。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

ホームページのご案内

詳細なIR情報や会社概要等については、当社ホームページをご覧ください。
<https://www.se-corp.com>

● 会社情報 (2024年9月30日現在)

商号 株式会社エスイー
所在地 〒163-1343
東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 (新宿アイランドタワー)
創設 1967 (昭和42) 年8月
立 1981 (昭和56) 年12月
資本金 12億2,805万円
従業員数 単体197名、連結573名
グループ事業内容 1.建設用資機材の製造・販売
・ケーブル製品分野
・鉄鋼製品分野
・コンクリート製品分野
2.建築用資材の製造・販売
・建築金物分野
・鉄骨工事分野
3.建設コンサルタント
4.補修・補強工事
5.その他

関係会社 (株)アンジェロセック (連結)
A&Kホンシユウ(株) (連結)
(株)北都運輸 (連結)
エスイーリペア(株) (連結)
(株)ランドプラン (連結)
エスイー鉄建(株) (連結)
(有)日越建設コンサルタント (VJEC) (非連結、ベトナム)
協力会社 アンジェロップ (フランス)

役員

■取締役・監査役

代表取締役会長 執行役員社長	森宮 元	元原 夫
代表取締役社長 執行役員社長	森宮 元	元原 夫
取締役 執行役員副社長	森宮 元	元原 夫
取締役 常務執行役員	野小 島	野小 島
取締役 執行役員	野小 島	野小 島
取締役 執行役員	野小 島	野小 島
取締役 (社外取締役)	野小 島	野小 島
取締役 (社外取締役)	野小 島	野小 島
監査役 (常勤)	野小 島	野小 島
監査役 (社外監査役)	野小 島	野小 島
監査役 (社外監査役)	野小 島	野小 島

■執行役員 (取締役を兼任するものを除く)

執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村
執行役員	中河 村	中河 村



株主通信

第44期 中間期

2024年4月1日～2024年9月30日

SEC 株式会社エスイー

証券コード：3423

●決算概要

2024年度中間期 決算ハイライト

●年間業績予想

業績予想は変更なし

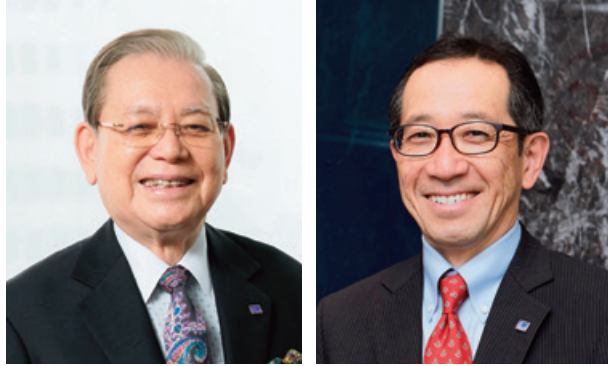
●中期経営計画の施策の進捗状況

概ね順調

SEC 株式会社 エスイー
<https://www.se-corp.com>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



代表取締役会長
森元 峯夫

代表取締役社長
宮原 一郎

株主の皆様には平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年4月～9月の日本及び世界経済は、米国が堅調を維持しており、日本・欧州においては緩やかな回復基調が見られました。一方、ロシア・ウクライナ紛争は長期化し、中東情勢はより緊迫化してきており、さらに各国の政治情勢の変化が国内外の分断化につながることも懸念されており、先行き不透明感は大きくなってきています。

エスイーグループでは、2024年度は中期経営計画の2年目として、引き続き将来を見据えた思い切った先行投資を優先し、通期予想では連結経常利益を685百万円（前年同期比688百万円減益）としております。国土強靱化や老朽化インフラへの対応といった事業環境面の追い風があるうちに、更なる社会課題の解決に貢献するよう事業基盤を改変していくこととしております。

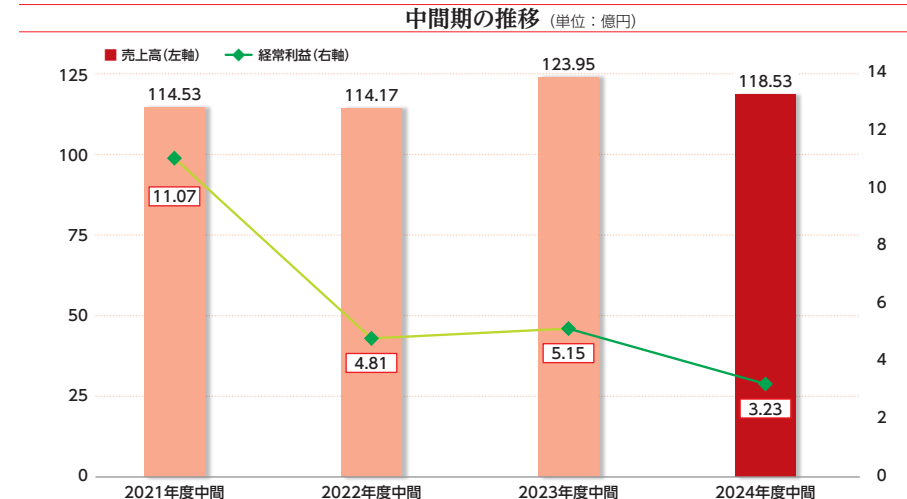
2024年度中間期の連結経常利益は323百万円、前年同期比192百万円減となりました。建設用資機材では、高速道路リニューアル関連の橋梁ケーブル製品や土木耐震金物が好調で、売上総利益が前年同期比に対し増加しましたが、建設用資機材以外のセグメントは総じて減少し、売上総利益は全体でほぼ横ばいとなり、これに中期経営計画関連施策の推進を中心とした人件費・経費の増加が加わりました。但し、通期予想比で言えば、減益幅は想定内に収まっており、将来を見据えた先行投資という面では一歩進めることが出来ました。

このように思い切った先行投資を実施する以上、必ず事業基盤の改変につなげていきます。株主の皆様ごの期待に数字でお応えするには少し時間を要することとなりますが、事業基盤の改変により中長期的な企業価値向上を確実なものとしていきたいと考えております。配当については、期間の利益の影響を受けにくい株主資本配当率（DOE）を基に安定的な配当を方針としております。今後ともエスイーグループに対するご支援を賜りますようお願い申し上げます。

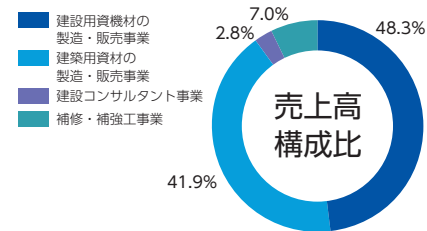
◆決算概要 ～減収減益～

- 売上高は、下記要因により前年同期比▲5億41百万円の減収。
 - ・建設用資機材の製造・販売事業において、高速道路リニューアル関連の橋梁ケーブル製品や土木耐震金物の納入が好調に推移、価格転嫁も順調に進捗。
 - ・建設用資機材以外の3つのセグメントでは、建築用資材の建築金物分野を除き、期初受注残に伴う案件消化減を打ち返すことができません。
- 利益面では、売上総利益がほぼ横ばいであったものの、営業利益以下は、研究開発強化をはじめとする中期経営計画の施策等を計画に沿って推進したことにより人件費・経費が増加した結果、大幅な減益。

	2024年度中間期	前年同期比
連結売上高	118億53百万円	▲5億41百万円
連結営業利益	2億88百万円	▲2億32百万円
連結経常利益	3億23百万円	▲1億92百万円
親会社株主に帰属する中間純利益	1億84百万円	▲1億24百万円



エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。



建設用資機材の製造・販売事業

高速道路リニューアル関連の橋梁ケーブル製品や土木耐震金物の納入が好調、顧客への価格転嫁も進捗。中期経営計画の施策推進による経費増加があったものの増益。

	売上高	営業利益
前中間期	55.23 億円	2.84 億円
当中間期	57.27 億円	2.90 億円

建築用資材の製造・販売事業

建築金物分野では首都圏の再開発工事が好調、価格転嫁も進捗。鉄骨工事分野では期初受注案件の減少に伴う案件消化の減少に加え、増工の一部が認められなかったことにより大幅な減収減益。

	売上高	営業利益
前中間期	54.75 億円	3.67 億円
当中間期	49.62 億円	2.83 億円

建設コンサルタント事業

JICA案件を中心とした期初受注案件の減少による案件消化減に加え、上期に予定していた案件が下期に工程変更となったことにより減収減益。

	売上高	営業利益
前中間期	4.50 億円	0.08 億円
当中間期	3.31 億円	0.38 億円

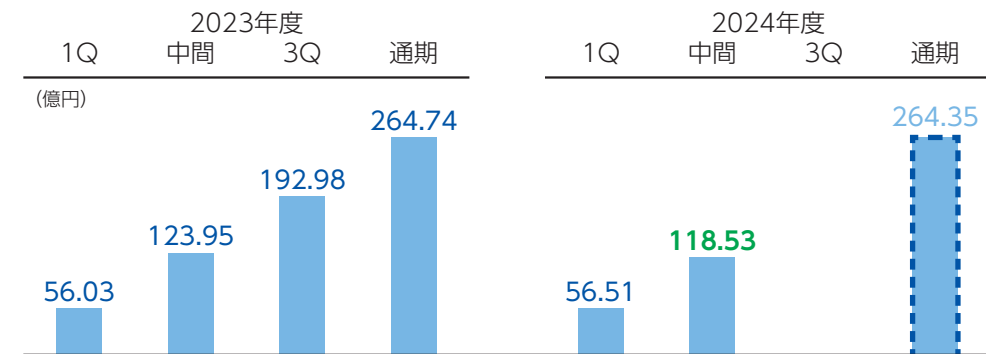
補修・補強工事業

期初受注案件の減少に伴い、案件消化が減少。大型工事の中での追加工事の増額が認められず利益率も低下。

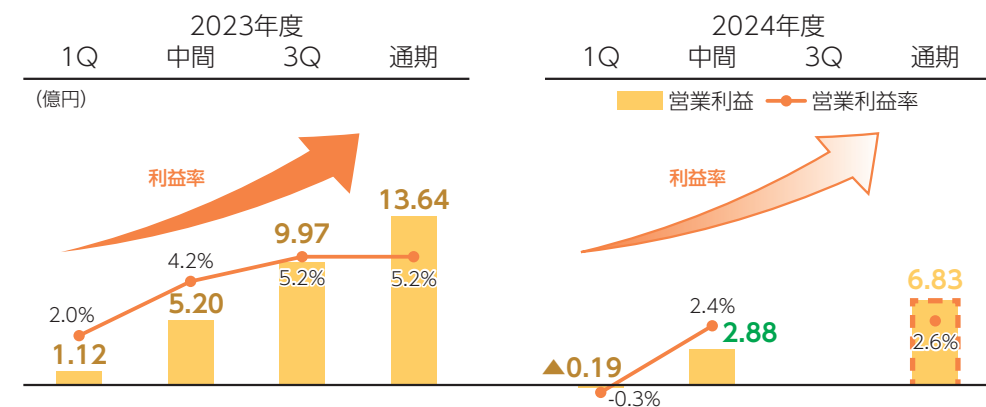
	売上高	営業利益
前中間期	9.46 億円	0.93 億円
当中間期	8.32 億円	0.32 億円

2024年度の業績予想は、2024年5月10日公表の売上高264億35百万円、営業利益6億83百万円より変更なし。
 ・売上高の公表予想値は、ほぼ前年度並みを予想しているが、下期予想に織り込んでいた能登半島の復興需要が9月の豪雨の影響により次年度以降に持ち越す見通しで、達成に予断を許さない状況。
 ・中間期までに建設用資機材において大型案件の納入が順調に進んだこと、顧客への価格転嫁が順調に進捗していることより、売上総利益は順調。営業利益は公表を十分見通せる状況。
 2024年度の年間配当予想は、13円/株で変更なし。

売上高 (累計)



営業利益 (累計) ・ 営業利益率



中期経営計画では、積極的な先行投資で施策を展開しております（2024年度中間期での進捗状況）。

未来に向けた種まき

発電事業 ▶ ~ 2028年度頃の事業開始を目指し、活動中

原料調達／生産 ベンチプラントの発注は概ね完了、設営段階に移行。年度内稼働を目指す。

発電 ベンチプラントの発注は概ね完了、設営段階に移行。年度内設営完了を目指す。

事業計画 事業参入に向けて定款変更を実施。事業会社設立・IPP事業参画の準備を推進。

ESCON事業（橋梁大規模修繕関連等）▶ ~ 各種データ・資料整備が進捗、販売活動に軸足を移す

道路橋床版 各種技術的検討が終了し、試行工事の支援も実施。関連資料の整備も進み、ESCON協会会員・発注者への営業活動も開始。

床版継手部適用 ESCON協会会員が受注した案件に対し、提案営業を開始。

床版上面増厚 試験施工を継続実施し、配合及び工法の確立に向けて活動。

BIM設計支援・BIM化業務受託 ▶ ~ 営業活動を積極化、営業ツール等の整備も実施

既存事業領域から展開する新規事業等 ▶ ~ 事業案の選抜は完了、PMFの検証段階に移行

生産業務効率化 ▶ ~ 効率化のためのシステム構築を実施中、予定通り進捗。

人材定着等改革 ▶ ~ 社会・環境の変化に適用した採用活動・制度の刷新策を策定、推進。

既存事業の土台固め

「未来に向けた種まき」はホームページでの情報発信も積極的に実施中です。



「新しい取り組み」のページを新設し、「BIM/CIM業務受託」の詳細を掲載



トピックスでも積極的に情報発信



中期経営計画の施策の進捗状況